



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社  
 コード番号 6356 URL <http://www.nippon-gear.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝村 哲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小倉 達朗 TEL 0466-45-2100  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,065	△20.2	144	△37.4	166	△23.1	104	△21.1
25年3月期第2四半期	5,097	△0.1	231	△59.9	216	△61.1	131	△58.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.33	—
25年3月期第2四半期	9.28	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	9,825	5,890	60.0	414.87
25年3月期	9,935	5,798	58.4	408.37

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,890百万円 25年3月期 5,798百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
26年3月期	—	2.00			
26年3月期（予想）			—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	△13.4	360	△13.6	380	△5.6	230	△5.0	16.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	14,280,000株	25年3月期	14,280,000株
26年3月期2Q	81,048株	25年3月期	79,647株
26年3月期2Q	14,199,810株	25年3月期2Q	14,201,582株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、大企業を中心に企業収益が改善し、設備投資に持ち直しの動きがみられ、個人消費も緩やかに増加傾向を示しました。また海外経済も復調の兆しがみられ、回復基調にあります。

当社のセグメント別受注概況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・コントロール、ジャッキは底堅く推移したものの、その他の増減速機が不振で受注は減少いたしました。また歯車につきましても自動車用が不振で受注は大幅に減少いたしました。これらのことにより歯車及び歯車装置事業では受注は減少いたしました。工事事業では東日本大震災後の復旧需要等が落ち着いたこと及び発電所での定期検査工事の繰り延べによる保守業務が抑制されたことにより、受注は減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の受注高は45億91百万円（前年同期比6.4%減）、売上高は40億65百万円（前年同期比20.2%減）となりました。一方、当第2四半期会計期間末の受注残高は35億82百万円（前期末比17.2%増）となりました。

損益面につきましては、経費削減に努めましたが、売上高が大幅に減少したため、営業利益が1億44百万円（前年同期比37.4%減）、経常利益は1億66百万円（前年同期比23.1%減）、四半期純利益は1億4百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業のうち、バルブ・コントロールの受注高は、火力発電所、輸出、上下水道、石油、鉄鋼向けは減少したものの、原子力発電所、船舶、化学向けが増加したことにより、前年同期比1.5%増加いたしました。売上高は、原子力発電所向け及び輸出は増加したものの、火力発電所、上下水道、石油、鉄鋼、船舶、化学向けが減少したため、前年同期比15.0%減少いたしました。ジャッキにつきましては、営業努力により受注高は前年同期比5.0%増加いたしました。一方、売上高は産業用機械、液晶関連、電子関連向けの設備投資に厳しい状況が続いていたため、8.4%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比26.8%、売上高も35.7%それぞれ減少いたしました。歯車の受注高は、鉄道・船舶用、その他産業機械用は増加したものの、自動車用、建設機械用が減少したため、前年同期比16.2%減少いたしました。売上高は、鉄道・船舶用は増加したものの、自動車用、建設機械用、産業機械用が減少したため、前年同期比25.4%減少いたしました。

以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比6.3%減少し、売上高も前年同期比19.7%減少いたしました。

工事事業につきましては、原子力発電所の稼働停止と火力発電所の稼働率上昇による定期検査工事の延期及び工期短縮の影響により、受注高は火力発電所向けの落ち込みが大きく前年同期比6.8%の減少となりました。売上高は火力発電所、原子力発電所向けの落ち込みが著しく前年同期比21.5%の減少となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ43百万円減少し68億58百万円となりました。これは主に現金及び預金が9億44百万円、たな卸資産が47百万円増加しましたが、売上債権が8億22百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ66百万円減少し29億67百万円となりました。これは主に投資その他の資産が30百万円増加しましたが、有形固定資産が91百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ2億77百万円減少し22億67百万円となりました。これは主に未払法人税等が71百万円増加しましたが、仕入債務が68百万円、1年内返済予定の長期借入金が23百万円、賞与引当金が1億12百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ75百万円増加し16億66百万円となりました。これは主に社債が40百万円、退職給付債務が75百万円減少しましたが、長期借入金が2億47百万円増加したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ91百万円増加し58億90百万円となりました。これは主に利益剰余金が61百万円、その他有価証券評価差額金が30百万円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べ9億44百万円増加し23億14百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、9億34百万円（前年同四半期は45百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益1億66百万円、減価償却費1億55百万円、売上債権の減少7億82百万円、法人税等の支払額又は還付額2億26百万円等の収入に対し、賞与引当金の減少1億12百万円、退職給付引当金の減少75百万円、たな卸資産の増加47百万円、仕入債務の減少68百万円等の支出によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、85百万円（前年同四半期は1億13百万円の支出）でありました。これは主に、有形固定資産の取得による支出68百万円によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、95百万円（前年同四半期は50百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入4億円に対し、長期借入金の返済による支出1億76百万円、社債の償還による支出40百万円、リース債務の返済による支出44百万円、配当金の支払額42百万円によるものであります。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年10月22日に公表しました数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,369,777	2,314,494
受取手形及び売掛金	3,142,310	2,320,025
商品及び製品	168,462	110,957
仕掛品	532,073	575,721
原材料及び貯蔵品	1,217,120	1,278,971
その他	472,004	257,898
流動資産合計	6,901,749	6,858,070
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	1,183,971	1,092,072
有形固定資産合計	2,197,262	2,105,363
無形固定資産	133,792	128,659
投資その他の資産		
投資有価証券	420,273	470,100
その他	287,693	268,277
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	702,767	733,177
固定資産合計	3,033,822	2,967,201
資産合計	9,935,571	9,825,272
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,441,877	1,372,926
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	310,500	287,000
未払法人税等	—	71,743
賞与引当金	295,637	183,140
その他	417,025	272,795
流動負債合計	2,545,041	2,267,606
固定負債		
社債	200,000	160,000
長期借入金	215,000	462,000
退職給付引当金	643,635	568,130
役員退職慰労引当金	14,630	1,785
環境対策引当金	23,541	23,541
資産除去債務	204,150	204,223
その他	290,608	247,201
固定負債合計	1,591,565	1,666,881
負債合計	4,136,606	3,934,488

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	3,490,646	3,552,066
自己株式	△25,773	△26,323
株主資本合計	5,702,021	5,762,892
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,943	127,891
評価・換算差額等合計	96,943	127,891
純資産合計	5,798,964	5,890,784
負債純資産合計	9,935,571	9,825,272

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,097,878	4,065,954
売上原価	3,810,252	2,959,468
売上総利益	1,287,625	1,106,486
販売費及び一般管理費	1,056,331	961,783
営業利益	231,294	144,702
営業外収益		
受取利息	110	92
受取配当金	5,541	4,905
助成金収入	—	17,577
その他	3,592	12,096
営業外収益合計	9,244	34,671
営業外費用		
支払利息	16,950	12,684
為替差損	5,230	—
その他	1,674	150
営業外費用合計	23,855	12,834
経常利益	216,683	166,540
特別損失		
固定資産除却損	638	—
特別損失合計	638	—
税引前四半期純利益	216,044	166,540
法人税等	84,192	62,519
四半期純利益	131,851	104,021



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	216,044	166,540
減価償却費	170,355	155,695
受取利息及び受取配当金	△5,651	△4,997
支払利息	16,950	12,684
為替差損益(△は益)	9	△7
有形固定資産除却損	638	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△275,258	△112,496
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,467	△75,505
売上債権の増減額(△は増加)	343,948	782,352
たな卸資産の増減額(△は増加)	279,183	△47,995
仕入債務の増減額(△は減少)	△380,052	△68,951
その他	△69,276	△91,538
小計	310,358	715,780
利息及び配当金の受取額	5,651	4,997
利息の支払額	△16,394	△12,652
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△254,324	226,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,291	934,892
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△73,644	△68,794
無形固定資産の取得による支出	△31,256	△15,300
投資有価証券の取得による支出	△2,068	△1,784
その他	△6,331	665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,300	△85,213
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	332,000	—
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△247,500	△176,500
リース債務の返済による支出	△38,732	△44,966
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△333	△549
配当金の支払額	△56,340	△42,953
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,905	95,031
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△118,923	944,717
現金及び現金同等物の期首残高	1,990,895	1,369,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,871,971	2,314,494

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,571,562	1,526,315	5,097,878
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,571,562	1,526,315	5,097,878
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△6,801	238,095	231,294

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,868,551	1,197,402	4,065,954
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,868,551	1,197,402	4,065,954
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△91,966	236,668	144,702

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。